

令和8年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第1学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語科	○「話すこと・聞くこと」の学習において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ○「書くこと」の学習において、日記や報告文などを、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ○「読むこと」の学習において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	○グループでの話合いの声や、全体の前で発表するときの声の大きさを適宜確認する。手本となる児童を紹介する。 ○国語の学習だけでなく、教科横断的に文章を書く機会を設ける。 ○一つの段落など文章の特定の部分にとどまらず、文章全体に何が書かれているかを把握するように、全文シートなどを活用する。
算数科	○文章題での立式をする時に、たし算になるのか、ひき算になるのかを判断すること。 ○たし算やひき算の式を基に、文章題となる話をつくること。 ○ひき算において、求差の意味を正しく理解させること。	○文章から場面をイメージさせ、式につなげるようスモールステップを踏ませる。 ○文章題を解く経験を増やす。 ○立式後、その式の意味を説明する機会を積極的に設け、式には意味があることを身に付けさせる。
生活科	○自分の気付きを比較、関連付けながら質を高めていくこと。 ○活動を通して得た気付きを自分の生活と結び付けて考え、生かそうとすること。	○五感を表した、見るポイントを書いたカードなどを用意して観察前に提示する。 ○観察後にペアや小グループで「見つけたこと」を話し、考えを広げる活動を取り入れる。 ○予め、学習計画を提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。 ○発表や共有をする時間を設け、主体的に活動できるようにする。
音楽科	○曲想を感じながら歌ったり、音楽に合わせて体を動かすなどして歌ったりすることに主体的に取り組むこと。 ○鍵盤ハーモニカの習熟に個人差があること。	○曲想やリズムに合っている動きをしている児童を認めるなどして、音楽活動を楽しめる場や雰囲気づくりを行う。 ○児童同士での学び合いや、個別指導なども取り入れながら、個人差を少なくしていく。
図画工作科	○想像をふくらませて描いたり作ったりする活動を通して、表現力を高めること。 ○切る、貼る、塗るなどの基本的な技能を習得すること。 ○自分や友達の作品の良さを見付けたり、話したりする機会を通して鑑賞を深めること。	○想像をふくらませることができそうな題材を選び、導入の工夫をする。 ○様々な製作体験の中で、基本的な用具の正しい扱い方を身に付けさせる。 ○自分の作品の工夫を発表したり、友達の作品のよさを見付けたりする場を設定する。
体育科	○走る、跳ぶ、投げる、受けるなどの基本動作を習得すること。体幹を鍛えること。 ○用具の扱い方や遊び方、友達との距離感や力加減を適切にすること。	○体づくり運動を中心に、遊びの中で多様な運動経験を積ませる。 ○活動前に安全の約束を確認したり、動き方の例を見せたりしながら、児童が具体的にイメージできるようにする。
外国語活動	○活動内容によって、児童の取組に戸惑いが見られること。	○事前にALTと授業内容を確認し、個別支援をしていく。
道徳	○ねらいとする価値について、自分の生活と結び付けて考えること。 ○多様な考えに触れながら自分の考えを広げたり、深めたりすること。	○場面を具体的にイメージできるような挿絵や動作化、役割演技等を取り入れたり、自分の生活を振り返ることができそうな発問を工夫したりする。 ○ペアや全体で考えを伝え合う場を設け、友達の考えを聞く経験を積み重ねる。